

【上山市】 校務 DX 計画

現在は校務系ネットワークと学習系ネットワークを分離してセキュリティを確保し、校務支援システムを用いて成績処理や児童生徒情報の管理を行っている。学習系においては児童生徒用タブレットだけではなく教員用タブレットを一人一台、電子黒板を普通教室に一台確保し、それらを有効活用することで授業の質の向上を図っている。

しかし、ネットワーク分離を起因とした電子記憶媒体の多用などのセキュリティ上の課題、職員室におけるプリンタ等多数機器の設置、PC・タブレットの動作の遅さ、古いシステム・ネットワークの残存、過酷な執務環境など、様々な課題も依然として存在している。

本市ではこれらの課題に適切に対応し、教育DX化を推進する。誰一人取り残すことのない個別最適化学習の推進及び協働的な学びの実現によるより良い学びの場の提供、負担軽減による教職員の働き方改革の支援（ロケーションフリー、事務効率の向上、負担軽減）等を目的とし、教育ネットワークの更新及びフルクラウド化によるセキュリティ強化を実現する考えである。

そのために、教育ダッシュボードの利活用、校務支援システムとAIドリル、学習支援システム等のデータ連携による不要な入力作業の一掃や、デジタル採点システムの導入の検討など、効率的かつ効果的なシステムづくりを進め、教育の質の向上につなげる。

また、家庭（保護者）と学校、学校間や教育委員会と学校との連絡及び通知はデジタル化し、学習系システムやメール、共有フォルダを活用してペーパーレス化し、FAX・押印についても廃止する方向で検討を進めていく。

さらに、次期GIGAスクール構想に対応するために教育情報セキュリティポリシーを改訂し、利便性と安全性の両方を兼ね備えた運用を目指す。